



ボートレース宮島は、公式YouTubeチャンネルを開設しています。ボートレース芸人の解説や、女子選手の素顔に迫る映像などを楽しむことができます。



若者や女性などのファン獲得のため、CMも好感度の高いタレントや俳優を起用。今年は、ボートレーサーを目指す若者を主人公にした青春ドラマ仕立て。神尾楓珠、芋生悠、飯尾和樹、MEGUMIらが演じています。

グレード制
モーターボート競走には格付けがあり、SG(スペシャルグレード)PGI(プレミアムGI)GI、GII、GIII、一般戦に区分される。9つあるSG競走はレースによって1着1,600万円から最高1億円の賞金が贈られる。

令和2年度実績

開催日数	198日
売上金	705億7,898万2,400円
1人当たり購入金額	5,169円
売上金のうちグレードレースが占める金額	
SGグランドチャンピオン	146億5,161万1,900円
GI宮島チャンピオンカップ	74億5,985万7,400円

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため本場は4、5月の全レースと6月のSGレースを無観客開催。外向発売と各場外発売場は5月末まで休館した。

何でもうわさによると、宮島ボートの業績が好調というではありませんか。調子がいいのは結構なことですが、それが何か？僕らの暮らしに関係あるの？という疑問がわいてきます。そこで、約1年ぶりに復活した『好奇心探検隊』が、好奇心のおもむくままに、ボートレース場に潜入。その謎を探ってきました。【取材 企画財政課】



BOATRACE
&
MONEY
公営競技とお金の謎



ロケーションも最高

宮島口駅を過ぎると、ほどなく姿を現す大きな建物。『BOATRACE 宮島』という表示が目に入ります。ん？ボートレース。競艇って言うんじゃないの。そんな疑問もふつふつと…。

現在、旧事務所棟の建て替えのため、スタンドの5階に移転している『宮島ボートレース企業団』を訪ねます。

出迎えてくれたのは、企業団事業局の上田次長と経営管理課企画係の田丸係長、そして北野主任の3人。イベントや宣伝などを担当する部署の方々です。

5階からは、ボートレース宮島の名称にたがわず、世界遺産の宮島の絶景が一望できます。もちろん、各階のスタンドからの眺めも最高。観光がてら立ち寄る人もいるとか。

競艇からボートレースへ

まず気になったのが、最近「競艇」という呼称ではなく、ボートレースというのはいったい何？ということ。

「業界全体でイメージ向上を図る意味で、競艇ではなく

ということ。昭和50年代、バブル期には、毎年10億円を超す配分金があり、最高15億円を超える年もあったというからビックリ。しかし、平成10年代から20年代半ばは、厳しい経営が続く、市への配分金もゼロという時代が続きます。全国でも競馬などが公営競技から撤退するということが続きました。

スマホの普及で躍進

ここ数年、宮島での売り上げが伸びているといいます。その要因はいくつか挙げられるようですが、とりわけスマートフォンでの投票の伸びが大きいようです。

「ボートレースは、早い時期から電話投票を導入してきました。2002年から始まっ

た。ボートレースと呼ぶようになりました。ギャンブルとして射幸心をあおるようなものではなく、まちづくりにも役立つことを知ってほしい」上田次長は、スポーツ、レジャーとしてのイメージの転換を訴えます。

昭和29年スタート

まちづくりに役立つ？実はボートレースをはじめ、公営競技が始まったのは、戦後まもなくのこと。苦しい地方財政の改善のため導入されました。ここ宮島でも、大竹市、旧大野町、旧宮島町の1市2町が昭和29年11月から開催し、以来67年になるうとしています。そして、その収益の一部が市の財政に充てられる

た。テレビというシステムで、全国のレースが買えるというものです。今では売り上げの7割以上を占めています」と上田次長。

昨年からコロナ禍でボートレース場に足を運ぶことができない時期も、いつでもどこでも手軽に舟券を購入できるシステムが、逆に売り上げ増の後押しとなったようです。

「加えて平成27年に、当時13年ぶりに開催したSG競走や、ボートレース鳴門がスタンド改修で2年ほど休場したとき、30日間宮島で代替開催をしたあたりが、黒字転換の契機だったように思います」と振り返ります。

ボートレース業界全体も好調で、令和2年度は2兆951億円と前年度からの売り上げを伸ばしてきました。



ボートレース宮島マスコットキャラクター
モミジ(左)とモンタ(右)



左からボートレース企業団の田丸係長、上田次長、北野主任



(右) オリジナルグッズのモンタのマグネットが人気。(左) 外向発売所は、ほぼ毎日利用できます。

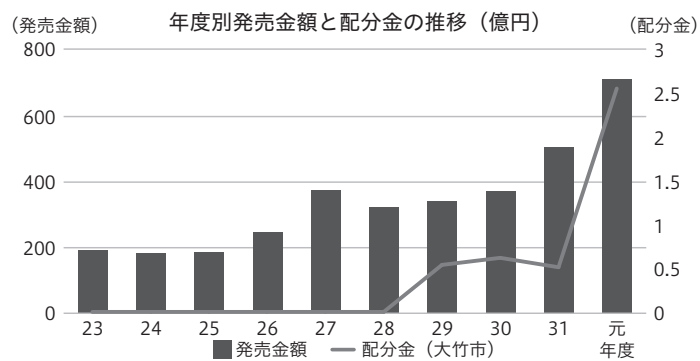
「ここは去年オープンしたのですが、コロナの影響を受け、消毒などの衛生管理の面から利用を控えています」と残念そうな北野さん。

探検隊もせっかくの施設がもったいない！コロナが収まってくれることを祈りました。

スタンドの手前に『パルポート宮島』という外向発売所があります。ここでは、ほぼ毎日（年間最大360日）、朝7時15分からナイターレースまで、1日8カ所のレースが購入できます。こういった施設も売り上げ増の後押しになっているようです。ほかにも、呉安芸高田、尾道に、チケットショップがあります。

ほぼ日発売。パルポート

スタンドの手前に『パルポート宮島』という外向発売所があります。ここでは、ほぼ毎日（年間最大360日）、朝7時15分からナイターレースまで、1日8カ所のレースが購入できます。こういった施設も売り上げ増の後押しになっているようです。ほかにも、呉安芸高田、尾道に、チケットショップがあります。



「宮島からは、決算剰余金の中から、大竹市と廿日市市に聞かれています。いろいろな見えてきました。結局大竹市にとってどんなメリットがあるの？それは、市の財政担当の建石主幹に聞くに限ります。」

「宮島からは、決算剰余金の中から、大竹市と廿日市市に聞かれています。いろいろな見えてきました。結局大竹市にとってどんなメリットがあるの？それは、市の財政担当の建石主幹に聞くに限ります。」



来年5月には、ポートレースオールスターが宮島で開催決定。

教えてタテシさん

いろいろな見えてきました。結局大竹市にとってどんなメリットがあるの？それは、市の財政担当の建石主幹に聞くに限ります。」



このようにポートレースの収益が伸びることで、まちづくりの一助になっていることを思えば、1枚100円の舟券も積み重なれば、まちを応援することにつながるのではないかなと感じた探検隊でした。

「配分金は基金として積み立て、そこから大竹駅周辺整備事業に充てたり、直接大竹会館の建て替えに使ったりすることができました。」

「配分金は基金として積み立て、そこから大竹駅周辺整備事業に充てたり、直接大竹会館の建て替えに使ったりすることができました。」

に配分金が入ってきます。配分金のうち、26.75%が大竹市分になります」と建石主幹。平成12年度からは長らく配分金はゼロでしたが、平成29年度からは、5千万円台、6千万円台の配分金が復活。令和2年度は好調な売り上げを背景に2億5412万5千円と、大きく伸びました。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
日	月	火	水	木	金	土	日祝	月振	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
GⅡ第9回 サッポロ ビール杯							第51回 スポーツ ニッポン杯							GⅡマンスリー BOATRACE杯争奪 宮島プリンスカップ							第18回 日本モーターボート 選手会会長賞									
パルポート宮島発売															パルポート宮島発売															

※念のため主催者発表のものと照合してください。
●ポートレース宮島の収益金は、大竹市のまちづくりに役立てられています。



宮島ポートレース企業団
☎0829-56-1122

パルポート宮島（外向発売所）



(左) ゴージャスな椅子のプレミアシートは5席。(中) 社長室の応接セットのような部屋。(右) 和室のたたずまい。畳の席からの観戦。(右下) 各レース場の情報が表示されます。



北野さんの案内で、最近リニューアルしたスタンドを探索してみました。

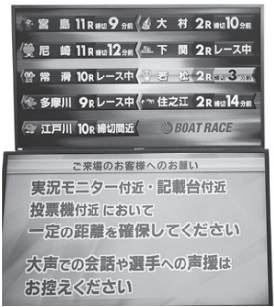
和テイストで観戦

ちなみに大竹市出身では、正木聖賢選手（A1級）がいます。

和テイストで観戦

上位は1億プレーヤー

全国24のボートレース場を



解放感ある1階スタンドは、目の前を疾走するボートのナマの迫力を感じることが出来ます。特にスタートラインめがけて横一線に向かって来る場面はコーンもの。



「西側のウッドデッキの端は、第1ターンマークでの攻防を間近に見ることが出来ます」と北野さんおススメ。紅白のターンマークを各艇がどんな位置取りで攻めているかは、最大級の見どころではないでしょうか。

そんな臨場感あふれる1階から3階に上がっていくと、なんと一面畳の敷かれたスペースが現れます。もちろん靴は脱いで上がりますが、「いろは」と書かれた下足札が居酒屋みたいで笑いました。和のテイストで落ち着いて観戦でき

復活

好意の探検隊

そうをいいたんけんたい

全国ボートレース場ご招待チケットを
抽選でプレゼント (20人)

入場券・食事券 (500円×2枚)

応募方法 タイトル「全国ボートレース場招待チケット希望」本文に住所、氏名、年齢、連絡先を記入して、メールで次のアドレスへ。

※応募は20歳以上の方
kikaku@city.otake.hiroshima.jp

締め切り 8月20日(金)

当選発表は発送をもってかえさせていただきます。
広報おたけの感想も聞かせてね。